

221  
343

# 漁業法及關係法規

全

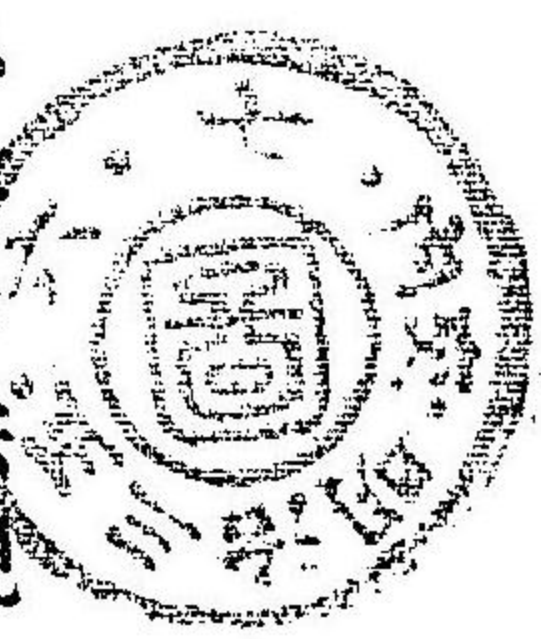
東京 水產同志會

F-84

CZ  
431  
085

凡例

本書は漁業法及び之れが運用に伴ふべき法規を集めたるものにして、同法の實施期も將さに數句を出です。此際斯業に關係あるものは皆其法規に通曉するの急務なると共に、永く座右に缺く可らざるを以て、茲に刊行して便覽に供す。



明治三十五年五月

水産同志會

# 漁業法及關係法規

## 目次

- 一 漁業法……………一
- 一 漁業法施行規則……………八
- 一 漁業組合規則……………二十六
- 一 水産組合規則……………三十九
- 一 重要物産同業組合法……………四十一
- 一 重要物産同業組合法施行規則……………四十六
- 以上……………

# 漁業法及關係法規

## 漁業法

(明治三十四年四月  
法律第三十四號)

特49  
638

第一條 本法ニ於テ漁業ト稱スルハ營利ノ目的ヲ以テ水産動植物ノ採捕又ハ養殖ヲ業トスルヲ謂フ

本法ニ於テ漁業者ト稱スルハ漁業ヲ爲ス者及漁業權ヲ享有スルモノヲ謂フ

第二條 私有水面ニ於テハ別段ノ定メアル場合ヲ除クノ外本法ノ規定ヲ適用セズ

第三條 漁具ヲ定置シ又ハ水面ヲ區劃シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クベシ其ノ免許ヲ受クベキ漁業ノ種類ハ主務大臣之ヲ指定ス

前項ノ外主務大臣ニ於テ免許ヲ必要ト認ムル漁業ノ種類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 水面ヲ專用シテ漁業ヲ爲スノ權利ヲ得ムトスル者ハ行政官廳ノ免許ヲ受クベシ

前項ノ免許ハ漁業組合ニ於テ其地先水面ヲ專用セムトスル場合ヲ除クノ外從來ノ慣行アルニ非ザレバ之ヲ與ヘス

第五條 漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ノ專用ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ漁業ノ種

類ヲ限定シテ免許ヲ與フルコトヲ得  
從來ノ慣行ニ因リ前條ノ免許ヲ出願シタルトキハ行政官廳ハ其ノ慣行ニ因リ漁場ノ  
區域及漁業ノ種類ヲ定メ之ヲ免許ス

第六條 漁業免許ノ期間ハ二十箇年以内トス第九條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期  
間ハ免許期間ニ算入セス

免許期間ハ免許ヲ受ケタル者ノ申請ニ因リ之ヲ更新スルコトヲ得

第七條 漁業權ハ相續、讓渡、共有及貸付ノ目的ト爲スコトヲ得但シ地先水面專用漁  
業權ヲ處分スルハ行政官廳ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第八條 漁業權ハ免許ヲ受ケタル日ヨリ一箇年間漁業ニ従事スル者ナキトキハ行政官  
廳ニ於テ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得引續キ二箇年間休業シタル時亦同ジ但シ行政官  
廳ノ認可ヲ受ケ休業シタルトキハ此限ニアラズ

第九條第一項ニ依リ免許ヲ停止シタル期間ハ前項ノ期間ニ算入セス

第九條 行政官廳ハ水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益上必要アリト認ムルトキハ漁業  
免許ヲ制限シ若クハ停止シ又ハ之ヲ取消スコトヲ得

漁業者ニシテ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違背シタルトキ亦前項ニ同  
ジ

第十條 漁場ノ區域又ハ方位ヲ標示スル爲メ標識ヲ建設セムトスル者ハ他人ノ土地ニ  
立入り又ハ之ヲ使用スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ漁業者ハ行政官廳ノ認可ヲ受クヘシ

第十一條 行政官廳ハ漁業者ニ漁場ノ標識ノ建設ヲ命スルコトヲ得

第十二條 第十條ニ依リ他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スルガ爲メ生ジタル損失ハ  
其請求ニ依リ之ヲ補償スヘシ

第十三條 地方長官ハ水産動植物ノ蕃殖保護又ハ漁業取締ノ爲メ主務大臣ノ認可ヲ得  
テ左ノ命令ヲ發スルコトヲ得

一、水産動植物ノ採捕若クハ販賣ニ關スル制限又ハ禁止

一、漁具、漁船、若クハ採捕ノ方法ニ關スル制限又ハ禁止

一、漁業者ノ數又ハ其ノ資格ノ制限

一、水産動植物ニ有害ナル物質ノ遺棄ニ關スル制限又ハ禁止

主務大臣ハ前項ノ制限又ハ禁止ヲ爲スノ必要アリト認ムルトキハ命令ヲ以テ之ヲ定  
ム

前二項ノ命令ニハ漁具及漁獲物ノ沒收ニ關スル罰則ヲ設クルコトヲ得

第十四條 主務大臣ハ遡河魚類ノ通路ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ一定ノ區域内

ニ於ケル工作物設置ノ制限又ハ禁止ニ關スル命令ヲ發スルコトヲ得  
工作物ニシテ遡河魚類ノ通路ヲ害スルモノト認ムルトキハ主務大臣ハ其ノ所有者ニ  
除害工事ヲ命スルコトヲ得

第十五條 前條第二項ニ依リ除害工事ヲ命ジタルトキハ主務大臣ハ工作物ノ所有者ニ  
對シ相當ノ金額ヲ補償スヘシ但シ利害關係人ノ申請ニヨリ除害工事ヲ命シタルトキ  
ハ主務大臣ノ定ムル處ニ依リ申請者之ヲ補償スヘシ

第十六條 行政官廳ハ水産動物ノ蕃殖保護ニ必要アリト認ムルトキハ公有水面ニ通  
ズル私有水面ニ前三條ノ規定ヲ適用スルコトヲ得

第十七條 漁業ニ従事スル雇人及雇主ノ取締ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十八條 一定ノ區域内ニ住居ヲ有スル漁業者ハ行政官廳ノ認可ヲ得テ漁業組合ヲ設  
置スルコトヲ得

漁業組合ノ地區ハ濱、浦、漁村其ノ他漁業者ノ部落ノ區域ニ依リ之ヲ定ムベシ  
前項ノ區域ニ依リ難キ場合ニ於テハ市町村又ハ之ニ準スヘキ區域内ニ於テ其地區ヲ  
定ムルコトヲ得

北海道ニ於テハ郡ヲ以テ漁業組合ク地區ト爲スコトヲ得

第十九條 漁業組合ハ漁業權ノ享有及行使ニ付權利ヲ有シ義務ヲ負フ但シ自ラ漁業ヲ

爲スコトヲ得ズ

第二十條 漁業組合ニ於テ其ノ地先水面ノ專用ノ免許ヲ受ケタルトキハ組合規約ノ定  
ムル所ニ依リ組合員ヲシテ漁業ヲ爲サシムベシ

第二十一條 漁業組合ノ設置、管理及監督ニ關スル規定ハ主務大臣之ヲ定ム

第二十二條 漁業者又ハ水産動物ノ製造若クハ販賣ヲ業トスル者ハ水産業ノ改良發達  
及水産動物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲水産組合ヲ設置ス  
ルコトヲ得

水産組合ニ關シテハ重要物産同業組合法ノ規定ヲ準用ス但シ同法中農商務大臣ニ屬  
スル職權ハ主務大臣之ヲ行フ

第二十三條 漁業免許若クハ其ノ更新ヲ拒否セラレタル者又ハ第八條、第九條若クハ第  
十四條第二項ノ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ不服ナルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ  
得

前項ノ處分ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスルトキハ行政訴訟ヲ提起スルコ  
トヲ得

第二十四條 漁業免許ノ違法許可若クハ其ノ更新ニ依リ權利ヲ傷害セラレタリトスル者  
ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十五條 漁場ノ區域、漁業權ノ範圍又ハ漁業ノ方法ニ付漁業者ノ間ニ争アルトキハ關係者ヨリ行政官廳ニ裁決ヲ申請スルコトヲ得

前項ノ裁決ニ依リ違法ニ權利ヲ傷害セラレタリトスル申請者又ハ爭議ノ相手方ハ行政訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十六條 免許ニ依ラスシテ免許ヲ受クヘキ漁業ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス免許ノ停止中又ハ免許ノ條件若クハ制限ニ違背シテ漁業ヲ爲シタル者亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ漁獲物及何人ノ所有ヲ問ハス漁具ヲ沒收ス但シ沒收スヘキ漁獲物已ニ讓渡シ又ハ消費シタルトキハ其代金ヲ追徴ス

第二十七條 使用人、漁夫其ノ他ノ從業者ノ所爲ハ漁業者ノ所爲ト看做シ前條ノ罰則ハ之ヲ漁業者ニ適用ス

第二十八條 第三條第四條ノ權利ヲ侵害シタル者ハ被害者ノ告訴ニ因リ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十九條 漁場ノ標識ヲ移轉シ又ハ毀損シタル者ハ三十圓以下ノ罰金ニ處ス

第三十條 明治三十三年法律第五十二號ノ規程ハ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ適用ス

## 附 則

第三十一條 本法ハ明治三十五年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三十二條 本法ノ規定ハ臘虎膾肭獸獵法ノ效力ヲ妨ゲズ

第三十三條 本法施行前ニ受ケタル漁業ノ免許又ハ公有水面使用免許ニ依ル第三條ノ漁業者ハ本法施行ノ日ニ於テ本法ニ依リ免許ヲ受ケタルモノト看做ス但シ其免許期間ハ第六條ノ期間内ニ於テ行政官廳之ヲ定ム

第三十四條 從來ノ慣行ニ因ル第三條又ハ第四條ノ漁業者ハ本法施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ出願スルトキハ之ニ免許ヲ與フベシ

前項ノ漁業者ハ其ノ免許ヲ出願シタル者ニ在リテハ許否ノ處分ヲ受クル迄ノ間其ノ他ニ在リテハ本法施行後一箇年間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 本法施行前ニ於テ水産業ノ改良發達及水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他水産業ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲行政官廳ノ認可ヲ得テ設置シタル組合ニシテ本法又ハ本法ニ基ツキテ發スル命令ノ規定ニ抵觸セザルモノハ本法施行ノ日ヨリ本法ニ依ル水産組合ト看做ス

# 漁業法施行規則

(明治三十五年五月  
農商務省令第七號)

八

## 第一章 總 則

第一條 本則ニ於テ定置漁業ト稱スルハ漁具ヲ定置シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、區劃漁業ト稱スルハ水面ヲ區劃シテ爲ス漁業ヲ謂ヒ、特別漁業ト稱スルハ漁業法第三條第二項ニ依リ主務大臣ニ於テ免許ヲ必要ト認ムル漁業ヲ謂ヒ、專用漁業ト稱スルハ定置漁業、區劃漁業及特別漁業ニ非スシテ水面ヲ專用シテ爲ス漁業ヲ謂フ

第二條 定置漁業ノ種類左ノ如シ

- 一 敷網及垣網又ハ敷網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ(臺網類漁業)
- 二 落網、上網及垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ(落網類漁業)
- 三 側網及垣網ヲ碇、土俵若ハ支柱等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ(柵網類漁業)
- 四 曲網及垣網又ハ刺網ヲ一定ノ水面ニ敷設スルモノ(建網類漁業)
- 五 垣網ヲ土俵若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ敷設スルモノ(出網類漁業)
- 六 囊網又ハ立回網ヲ支柱若ハ碇等ヲ以テ一定ノ水面ニ建設若ハ敷設スルモノ(張網類漁業)

七 一定ノ水面ニ支柱ヲ以テ管若ハ網ヲ建設シ又ハ竹、木、石堤等ヲ建設シテ陷窪

ノ裝置若ハ魚堰ヲ設クルモノ(畝築類漁業)

第三條 區劃漁業ノ種類左ノ如シ

一 一定ノ區域内ニ於テ瓦、石、竹、木等ヲ沈設シ又ハ築ヲ建設シテ爲ス養殖業

(第一種)

二 土、石、竹、木等ノ圍障ニ依リ限界セラレタル一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業

(第二種)

三 前二號ノ外一定ノ區域内ニ於テ爲ス養殖業(第三種)

第四條 特別漁業ノ種類左ノ如シ

- 一 一定ノ網場又ハ捕獲場ヲ有スル鯨漁業(第一種)
- 二 一定ノ追込場ヲ有スル海豚漁業(第二種)
- 三 一定ノ曳揚場ヲ有スル地曳網、地漕網漁業(第三種)
- 四 一定ノ曳寄場ヲ有スル船曳網漁業(第四種)
- 五 一定ノ網場ヲ有スル囊待網漁業(第五種)
- 六 一定ノ網場ヲ有スル敷網漁業(第六種)
- 七 一定ノ水面ニ於テ飼付ヲ爲ス漁業(第七種)

八 一定ノ水面ニ漬場ヲ設クル鰯漁業(第八種)

九 一定ノ水面ニ築磯ヲ設クル漁業(第九種)

第五條 前三條ニ該當スル漁業ノ名稱ハ別ニ之ヲ告示ス

第六條 本則ニ於テ漁場ト稱スルハ定置漁業ニ在リテハ漁具ヲ建設シ又ハ敷設スル區域ヲ謂ヒ、區劃漁業ニ在リテハ區劃スル區域ヲ謂ヒ、專用漁業ニ在リテハ專用スル區域ヲ謂ヒ、特別漁業中第一種ノ漁業ニ在リテハ網場又ハ捕獲場ノ區域ヲ謂ヒ、第二種ノ漁業ニ在リテハ追込場ノ區域ヲ謂ヒ、第三種及第四種ノ漁業ニ在リテハ網ノ使用區域ヲ謂ヒ、第五種及第六種ノ漁業ニ在リテハ網場ノ區域ヲ謂ヒ、第七種ノ漁業ニ在リテハ飼付ヲ爲ス區域ヲ謂ヒ、第八種ノ漁業ニ在リテハ漬場ノ區域ヲ謂ヒ、第九種ノ漁業ニ在リテハ築磯ノ區域ヲ謂フ

第七條 同一漁場ニ於テハ同一時期ニ於テ同一名稱ノ漁業ヲ免許セス但シ第三種乃至第六種ノ特別漁業ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八條 前條ノ外水産動植物ノ蕃殖保護其ノ他公益ニ害アリト認ムル漁業又ハ免許ヲ受ケタル漁業ト相容レスト認ムル漁業ハ之ヲ免許セス

第九條 市、町、村、町村組合及市町村内ノ獨立シタル區ハ從來ノ慣行アルニ非サレハ漁業免許ヲ受クルコトヲ得ス

第十條 同一漁場ニ於テ二以上ノ漁業免許アリタルトキハ關係漁業權者ハ命令書ノ定ムル所ニ依リ交互ニ其ノ權利ヲ制限セラルルモノトス

第十一條 漁業權者ハ其ノ漁場内ニ於ケル他人ノ漁業直接ニ自己ノ漁業ニ妨害アルニ非サレハ其ノ漁業ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 他人ノ專用漁場ニ入漁スルノ權利ヲ有スル者ハ漁業權者ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ權利ヲ處分スルコトヲ得ス但シ別段ノ慣行又ハ契約アル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 前條ノ規定ハ漁業權ノ貸付ヲ受ケタル者ニ之ヲ準用ス

第十四條 漁業ニ關スル出願、申請及届出ハ漁場ヲ管轄スル地方長官ニ之ヲ爲スヘシ但シ左ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農商務大臣ニ之ヲ爲スヘシ

一 專用漁業ニ關スルトキ

二 二以上ノ地方長官ノ管轄ニ屬スル漁場ニ於ケル漁業ニ關スルトキ

三 漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサル漁業ニ關スルトキ

前項第二號又ハ第三號ニ該當スル場合ニ於テハ主務大臣ハ管轄地方長官ヲ指定スルコトヲ得

第十五條 農商務大臣ニ出願、申請又ハ届出ヲ爲サムトスルトキハ漁場ヲ管轄スル地



方長官ヲ經由スヘシ但シ漁場ヲ管轄スル地方長官明確ナラサルトキハ住所地ノ地方長官ヲ經由スヘシ

第十六條 漁業ニ關スル行政行為ニ付テハ關係地方長官ハ交互ニ補助スルモノトス

第十七條 漁業ニ關スル出願、申請及届出ハ書面ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

書面ハ専用漁業ニ在リテハ漁場毎ニ其ノ他ノ漁業ニ在リテハ漁業ノ名稱及漁場毎ニ

一通ヲ作り差出人ノ住所及差出ノ年月日ヲ記載シ差出人之ニ記名捺印スヘシ

第十八條 二人以上共同シテ漁業ニ關スル權利ヲ享有行使シ又ハ漁業ニ關シ出願若ハ

申請ヲ爲ストキハ内一人ヲ選定シテ代表者ト爲シ之ヲ行政官廳ニ届出テ又ハ出願若

ハ申請ノ書面ニ記載スヘシ代表者ノ變更アリタルトキ亦同シ

代表者ハ行政官廳ニ對シ共同シテ漁業ニ關スル權利ヲ享有行使スル者又ハ共同出願

者若ハ共同申請者ヲ代表ス

代表者ノ變更ハ第一項ノ手續ヲ爲スニ非レハ之ヲ以テ行政官廳ニ對抗スルコトヲ得ス

第十九條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ漁業ニ關シ出願、申請若ハ届出ヲ爲シ

タル者又ハ漁業權者、入漁者若ハ漁業權ノ借主ニ對シ漁業ニ關スル目論見書其ノ他

ノ書類ノ提出、訂正又ハ補充ヲ命スルコトヲ得

前項ノ命令ヲ受ケタル者ハ指定シタル期間内ニ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十條 住所又ハ居所ノ不分明其ノ他ノ事由ニ依リ書類ノ送付ヲ爲スコト能ハサル

トキハ行政官廳ハ慣行ノ公布式ニ依リ其ノ事由及書類ノ要領ヲ公告スヘシ此ノ場合

ニ於テハ公告ノ終リタル日ヨリ起算シテ三十日ヲ經過シタルトキハ其ノ末日ニ於テ

書類ノ送付アリタルモノト看做ス

### 第一章 漁業免許

第二十一條 漁業免許ヲ受ケムトスル者ハ願書ニ漁場圖正副二通ヲ添附シ行政官廳ニ

出願スヘシ

從來ノ慣行ニ因リ漁業免許ノ出願ヲ爲ストキハ前項ノ外其ノ慣行ノ事實ヲ證スヘキ

書面ヲ添附スヘシ

第二十二條 漁業免許ヲ受ケムトスル漁場ノ敷地カ他人ノ所有ニ係ルトキハ前條第一

項ノ外所有者又ハ關係人ノ承諾ヲ證スヘキ書面ヲ添附スヘシ

前項ノ規定ハ從來ノ慣行ニ因ル出願ニハ之ヲ適用セズ

第二十三條 漁業免許ノ願書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 専用漁業ニ在リテハ漁具ノ種類又ハ漁業ノ方法其ノ他ノ漁業ニ在リテハ漁具ノ

種類及名稱

二 漁獲物ノ種類

三 漁業時期  
四 免許期間

第二十四條 漁場圖ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 漁場ノ位置

二 定置漁業ニ在リテハ漁具建設又ハ敷設ノ形狀及間數、區劃漁業ニ在リテハ漁場ノ區域及面積其ノ他ノ漁業ニ在リテハ漁場ノ區域

第二十五條 從來ノ慣行又ハ契約ニ因リ共有ノ性質ヲ有スル入會ヲ爲シタル者カ從來

ノ慣行ニ因リ専用漁業ノ免許ヲ受ケムトスルトキハ入會漁業者連印シテ出願スヘシ

但シ連印ヲ爲ササル者アルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ願書ニ添附スヘシ

第二十六條 從來ノ慣行又ハ契約ニ因リ他人ノ専用漁場ニ入漁シタル者ハ入會其ノ他

何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ハラズ専用漁業ノ免許ニ因リテ其ノ權利及義務ヲ生スル

コトナシ但シ入漁者ニ於テ本規則施行後一箇年以内ニ免許漁業原簿ノ登録ノ申請ヲ

爲ササルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 前條ノ入漁者又ハ本規則施行後ノ契約ニ因リ他人ノ専用漁場ニ入漁スル

者ハ専用漁業權者ノ變更又ハ専用漁業期間ノ更新ニ因リテ其ノ權利及義務ニ變更ヲ

生スルコトナシ但シ本則施行後ノ契約ニ因ル入漁者ニ於テ免許漁業原簿ノ登録ヲ受

ケサルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 漁業免許ヲ與フルトキハ免許狀ニ漁場圖ノ副本ヲ添附シ之ヲ下付スヘシ

免許狀ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 免許番號

二 免許年月日

三 漁業權者又ハ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所

四 漁場ノ位置

五 漁業ノ種類及名稱

六 漁獲物ノ種類

七 漁業時期

八 免許期間

九 免許ニ條件又ハ制限ヲ附シタルトキハ其ノ條件又ハ制限ノ事

十 免許ヲ與ヘタル官廳名

第二十九條 前條第二項第六號及第七號ニ掲ケタル事項又ハ漁場ノ區域ヲ變更セムト

スルトキハ願書ニ免許狀ヲ添附シ變更ノ免許ヲ行政官廳ニ出願スヘシ但シ漁場ノ區

域ヲ變更セムトスルトキハ第二十四條ノ規定ニ依リ漁場圖正副二通ヲ作製シ之ヲ添

附スヘシ

前項ノ出願ヲ免許スルトキハ更ニ免許狀ヲ下付スヘシ但シ漁場ノ區域ノ變更ヲ免許スルトキハ之ニ漁場圖ノ副本ヲ添附スヘシ

第三十條 從來ノ慣行ニ因ル専用漁業權者ハ前條ノ規定ニ依リ變更ノ免許ヲ出願スルコトヲ得ス

第三十一條 第二十八條第二項第三號ニ掲ケタル事項ニ變更ヲ生シタルトキハ申請書ニ免許狀ヲ添附シ三十日以内ニ免許狀ノ訂正ヲ行政官廳ニ申請スヘシ

第三十二條 免許期間更新ノ免許ヲ得ムトスルトキハ更新期間及事由ヲ具シ願書ニ免許狀ヲ添附シ免許期間満了ノ日ヨリ三箇月前ニ行政官廳ニ申請スヘシ

第三十三條 漁業權ノ相續、讓渡若ハ共有アリタルトキハ相續人又ハ當事者雙方ハ申請書ニ其ノ事由ヲ證スヘキ書面及免許狀ヲ添附シ三十日以内ニ免許狀ノ書換ヲ行政官廳ニ申請スヘシ

第三十四條 免許狀ヲ亡失又ハ毀損シタルトキハ事由ヲ具シ行政官廳ニ再下付ヲ申請スヘシ

スヘシ

第三十五條 漁業權消滅シタルトキハ三十日以内ニ行政官廳ニ免許狀ヲ返納スヘシ

漁業權ノ拋棄ニ因ル消滅ハ免許狀ヲ返納スルニ非サレハ之ヲ以テ行政官廳ニ對抗スルコトヲ得ス

第三十六條 地先水面専用漁業權ノ處分ノ認可ヲ受ケムトスルトキハ事由ヲ具シ行政官廳ニ申請スヘシ

第三十七條 漁業休業ノ認可ヲ受ケムトスル者ハ免許ヲ受ケタル日、休業ノ日又ハ認可期限満了ノ日ヨリ六箇月以内ニ事由ヲ具シ行政官廳ニ申請スヘシ

前項ノ認可ヲ受ケタル者漁業ニ著手シ又ハ再ヒ漁業ニ従事シタルトキハ其ノ旨ヲ届出ツヘシ此ノ届出ヲ爲ササルトキハ休業シタルモノト看做ス

## 第二章 漁業權登録

第三十八條 行政官廳ハ免許漁業原簿ヲ備ヘ左ノ事項ヲ登録スヘシ

- 一 漁業免許ヲ與ヘタルトキハ第二十八條第二項第一號乃至第九號ニ掲ケタル事項
- 二 變更ノ免許ヲ與ヘタルトキハ其ノ事項及年月日
- 三 免許狀ノ訂正ヲ許可シタルトキハ其ノ事項及年月
- 四 免許狀ノ書換ヲ許可シタルトキハ相續又ハ讓渡ニ關シテハ其ノ事由年月日及相續人若ハ讓受人又ハ其ノ代表者ノ氏名若ハ名稱及住所、共有又ハ代表者ノ變更

五 二關シテハ其ノ事由、年月日及代表者ノ氏名若ハ名稱及住所  
漁業權ノ貸付ニ關シテハ其ノ事由、年月日、期間及借主又ハ其ノ代表者ノ氏名  
若ハ名稱及住所

六 入漁ニ關シテハ入漁者ノ權利義務及入漁者又ハ其ノ代表者ノ氏名若ハ名稱及住  
所

七 免許期間更新ノ免許ヲ與ヘタルトキハ其ノ年月日及期間

八 休業ノ認可ヲ與ヘタルトキハ其ノ事由、年月日及休業期間

九 漁業權ヲ制限又ハ停止シタルトキハ其ノ事由及年月日

十 漁業權ノ消滅ニ關シテハ其ノ事由及年月日

十一 漁業權ノ差押、假差押又ハ假處分ニ關シテハ其ノ事由及年月日

前項第五號及第六號ニ掲ケタル事項ハ申請ニ因リ之ヲ登録スルモノトス

第三十九條 行政官廳ハ免許漁業共同人名簿ヲ備ヘ漁業權共有者、共同入漁者及共同

借主ノ氏名若ハ名稱及住所、持分ノ定アリタルトキハ其ノ持分並之ニ關スル相續、

讓渡、貸付、變更、差押、假差押、假處分ノ登録ヲ爲スヘシ

免許漁業共同人名簿ハ免許漁業原簿ノ一部トス

第四十條 第三十八條第一項第四號、第五號及第十一號ノ規定ハ前條第一項ノ相續、

讓渡、貸付、差押、假差押、假處分ノ登録ニ之ヲ準用ス

持分ノ變更ニ關シテハ其ノ事由及年月日ヲ登録スヘシ

前條第一項ノ相續、讓渡、貸付若ハ變更ノ登録ハ申請ニ因リ之ヲ爲スモノトス

第四十一條 行政官廳ハ免許ヲ與ヘタル漁業ノ漁場圖正本ヲ編綴シテ之ヲ備ヘ置クヘ

シ

前項ノ漁場圖ハ免許漁業原簿ノ一部トス

第四十二條 他人ノ専用漁場ニ入漁スル權利ヲ有スル者登録ヲ受ケムトスルトキハ當

事者雙方連印シテ之ヲ申請スヘシ但シ連印ヲ得ルコト能ハサルトキハ事由ヲ具シテ

之ヲ申請スヘシ

第二十六條入漁者前項ノ登録ヲ申請スルトキハ申請書ニ其ノ權利ヲ證スヘキ書面ヲ

添附スヘシ

第四十三條 登録シタル入漁者ノ權利義務ニ變更ヲ生シタルトキハ事由ヲ具シ三十日

以内ニ變更ノ登録ヲ申請スヘシ

前條ノ規定ハ前項ノ申請ニ之ヲ準用ス

第四十四條 漁業權ノ貸付アリタルトキハ當事者雙方ハ其ノ事由ヲ證スヘキ書面ヲ添

ヘ三十日以内ニ登録ヲ申請スヘシ

第四十五條 漁業權ノ差押、假差押又ハ假處分ノ命令アリタルトキハ其ノ申請ヲ爲シタル者ハ之ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ十五日以内ニ行政官廳ニ届出ツヘシ其ノ取消ノ命令アリタルトキ亦同シ

第四十六條 登録シタル入漁者及借主ノ權利並漁業權共有者、登録シタル共同入漁者及共同借主ノ持分ニ相續、讓渡若ハ共有アリタルトキハ相續人又ハ當事者雙方ハ其ノ事由ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ三十日以内ニ登録ヲ申請スヘシ  
前二條ノ規定ハ前項ノ持分ニ之ヲ準用ス

第四十七條 漁業權共有者、登録シタル共同入漁者及共同借主ノ氏名若ハ名稱又ハ住所ニ變更アリタルトキハ其ノ變更アリタル者ハ之ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ三十日以内ニ變更ノ登録ヲ申請スヘシ  
前項ノ規定ハ民法第二百五十五條及第二百六十四條ノ規定ニ依リ其ノ持分ニ變更ヲ生シタル場合ニ之ヲ準用ス

第四十八條 前五條ノ外當事者ノ申請ニ因リテ登録シタル事項ニ變更ヲ生シ又ハ其ノ事項カ消滅シタルトキハ當事者ハ之ヲ證スヘキ書面ヲ添ヘ三十日以内ニ變更又ハ消滅ノ登録ヲ申請スヘシ但シ代表者ノ變更ハ此ノ限ニ在ラス

第四十九條 行政官廳ニ於テ第三十八條第一項第一號、第二號及第四號乃至第十一號

ニ掲ケタル事項ヲ登録シタルトキハ慣行ハ公布式ニ依リ之ヲ告示スヘシ

第五十條 漁業權者其ノ他ノ利害關係者ハ免許漁業原簿ノ閱覽又ハ其ノ謄本若ハ抄本ノ下付ヲ行政官廳ニ申請スルコトヲ得

#### 第四章 蕃殖保護及漁業取締

第五十一條 水産動物ヲ疲憊若ハ斃死セシムヘキ有害物又ハ爆發物ヲ使用シテ水産動物ヲ採捕スルコトヲ得ス但シ捕鯨ノ爲メ爆發物ヲ使用スルハ此ノ限ニ在ラス

第五十二條 前條ノ規定其ノ他漁業法第十三條ニ依ル命令ハ官署又ハ公署ニ於テ調査又ハ試験ノ爲水産動物ノ採捕又ハ蕃殖ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

第五十三條 漁業法第十三條ニ依ル命令ハ蕃殖、學術研究其ノ他特別ノ理由ニ因リ行政官廳ノ許可ヲ受ケ水産動物ノ採捕ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

第五十四條 遡河魚類ノ通路ヲ遮斷シテ漁業ヲ爲ストキハ地方長官ノ定ムル所ニ依リ魚道ヲ開通スヘシ

第五十五條 定置漁業及特別漁業ニ關シテハ行政官廳ハ漁場取締ノ爲命令ヲ以テ保護區域ヲ設クルコトヲ得

保護區域内ニ於テ漁業ノ妨害トナルヘキ行爲ノ禁止又ハ制限ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム  
地方長官前二項ノ命令ヲ發スルトキハ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第五十六條 左ニ揚ケタル漁業ハ其ノ漁業ヲ爲ス水面ヲ管轄スル地方長官ノ許可ヲ受クルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 藻手繰網漁業
- 二 藻打瀬網漁業
- 三 藻曳網漁業
- 四 潜水器漁業
- 五 空釣繩漁業

前項漁業ノ地方名稱ハ地方長官之ヲ告示スヘシ

地方長官第一項ノ漁業ヲ許可シタルトキハ鑑札ヲ下付スヘシ

第五十七條 前條ノ漁業者漁業ヲ爲ストキハ鑑札ヲ携帯スヘシ

第五十八條 漁場ノ標識ヲ建設スル爲他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用セムトスル者ハ事由ヲ具シ其ノ土地ヲ管轄スル島司又ハ郡長ノ認可ヲ受クヘシ

前項ノ土地カ島司又ハ郡長ノ管轄ニ屬セサルトキハ所轄警察官署ノ認可ヲ受クヘシ

前二項ノ規定ハ漁場標識ノ建設ヲ命セラレタル場合ニハ之ヲ適用セス

第五十九條 漁場ノ標識ヲ建設スル爲他人ノ土地ニ立入り又ハ之ヲ使用スル者ハ其ノ認可書又ハ命令書ヲ携帯スヘシ

第六十條 漁場標識ヲ建設シタルトキハ其ノ漁場標識タルコトヲ明示スヘシ

第六十一條 地方長官禁漁區ヲ設ケタルトキハ適當ノ場所ニ其ノ標示ヲ爲スヘシ

### 第五章 裁 決

第六十二條 漁業法第二十五條第一項ニ依リ爭議ノ裁決ヲ受ケムトスル者ハ免許ヲ與ヘタル行政官廳ニ申請スヘシ但シ關係者ニ免許ヲ與ヘタル行政官廳異ナルトキハ農

商務大臣ニ申請スヘシ

第六十三條 前條ノ裁決ノ申請書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 申請者及爭議ノ相手方ノ氏名若ハ名稱及住所
- 二 申請ノ目的及理由
- 三 立證

第六十四條 爭議ノ裁決ハ文書ヲ以テ之ヲ爲シ其ノ理由ヲ附スヘシ裁決ノ申請ヲ却下スルトキ亦同シ

### 第六章 罰 則

第六十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ二十五圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 第三十三條第一項、第五十一條、第五十四條又ハ第五十六條ノ規定ニ違背シタルトキ

漁業法施行規則

- 二 第四十四條又ハ第四十六條ニ依リ漁業權ノ貸付又ハ漁業權共有者ノ持分ノ相續、讓渡、共有若ハ貸付ノ登録ヲ申請セサルトキ
  - 三 第四十五條又ハ四十六條ニ依リ漁業權、登録シタル入漁者若ハ借主ノ權利又ハ漁業權共有者、登録シタル共同入漁者若ハ共同借主ノ持分ノ差押、假差押又ハ假處分ニ關スル届出ヲ爲ササルトキ
  - 四 禁漁區内ニ於テ其ノ禁止シタル水産動植物ヲ採捕シタルトキ
  - 五 禁漁區ノ標示ヲ移轉シ又ハ毀壞シタルトキ
- 第六十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ科料ニ處ス
- 一 第三十一條、第三十三條第二項、第三十五條第一項又ハ第五十七條ノ規定ニ違背シタルトキ
  - 二 前條第二號ノ場合ヲ除クノ外本則ノ規定ニ依リ登録スヘキ事項ノ登録ノ申請ヲ怠リタルトキ

附 則

第六十七條 本則ハ漁業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六十八條 本則施行前ニ於テ漁業ニ關シ地方長官ノ發シタル命令ノ規定ニシテ漁業法又ハ本則ノ規定ニ牴觸セサルモノハ漁業法又ハ本則ニ依リ發シタルモノト看做ス

第六十九條 漁業法第三十三條ニ該當スル者ハ本則施行ノ日ヨリ六箇月以内ニ行政官廳ニ免許期間ノ指定ヲ申請スヘシ

前項ノ申請ヲ爲ササル者ハ廢業シタルモノト看做ス

第七十條 第二十一條第一項、第二十三條、第二十四條、第二十八條、第三十八條、第三十九條及第四十一條ノ規定ハ前條ノ申請ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十一條 獨立シタル區ヲ爲ササル濱、浦、漁村又ハ漁業者ノ部落ニシテ從來ノ慣行ニ因リ漁業免許ヲ受ケムトスルトキハ漁業組合ヲ組織シテ本則施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ出願スヘシ

第七十二條 本則施行前ヨリ行政官廳ノ許可ヲ受ケ第五十六條第一項ノ漁業ヲ爲ス者ハ本則ニ依リ許可ヲ受ケタルモノト看做ス但シ鑑札ノ下付ヲ受ケサルモノハ本則施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ管轄地方長官ニ鑑札ノ下付ヲ申請スヘシ此ノ場合ニ於テハ鑑札ノ下付ヲ受クル迄ノ間鑑札ヲ携帯セスシテ漁業ヲ爲スコトヲ得

第七十三條 本則施行前ヨリ第五十六條第一項ノ漁業ヲ爲ス者ニシテ前條ノ規定ニ該當セサルモノハ本則施行ノ日ヨリ一箇年以内ニ管轄地方長官ニ許可ヲ出願シタルトキハ許可ノ處分ヲ受クル迄ノ間仍從前ノ例ニ依リ漁業ヲ爲スコトヲ得

第七十四條 地方長官ハ本則ニ規定スルモノノ外農商務大臣ノ認可ヲ得テ漁業ニ關ス

ル出願、申請又ハ届出ニ關スル規定ヲ設クルコトヲ得

第七十五條 本則中市、町、村、町村組合及市町村内ノ區ニ關スル規定ハ北海道ニ於テハ區、町、村及區町村内ノ部沖繩縣ニ於テハ區、間切、島、間切島組合及區間切島内ノ部ニ之ヲ適用ス

# 漁業組合規則

(明治三十五年五月 農商務省令第八號)

## 第一章 總 則

第一條 本則ニ於テ漁業組合ト稱スルハ漁業法第十八條ニ依リ設置スル組合ヲ謂フ

第二條 組合ノ名稱ニハ其ノ地區ノ名稱及漁業組合ナル文字ヲ附スヘシ

漁業組合ニ非スシテ其ノ名稱中ニ漁業組合ナル文字ヲ附スルコトヲ得ス

第三條 組合ノ地區ハ互ニ重複スルコトヲ得ス

第四條 組合ハ理事其ノ他ノ代理人カ其ノ職務ヲ行フニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第五條 本則ノ規定ニ依リ地方長官ニ屬スル職權ノ一部ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ下級行政官廳ニ之ヲ委任スルコトヲ得

## 第二章 組合ノ設置

第六條 組合ヲ設置セムトスルトキハ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者五名以上發起人ト爲リ其ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ規約ヲ議定シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

特別ノ事由ニ因リ前項ノ同意ヲ得ルコト能ハサルトキハ地方長官ノ認可ヲ得テ創立總會ヲ開クコトヲ得

第七條 發起人前條第一項ノ同意ヲ求メムトスルトキハ左ノ事項ヲ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ニ通知スヘシ

一 地區

二 享有行使セムトスル漁業權

三 同意表示ノ方法及期間

第八條 第六條第一項ノ同意又ハ同條第二項ノ認可アリタルトキハ發起人ハ規約並初年度ニ於ケル經費ノ豫算及賦課徴收法ニ關スル議案ヲ作り遲滞ナク創立總會ヲ招集スヘシ

第九條 發起人創立總會ヲ招集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的、日時及場所並規約案備附ノ場所及閱覽ノ時間ヲ組合員タルヘキ者ニ通知スヘシ



第十條 規約ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 目的
- 二 名稱、地區及事務所ノ位置
- 三 組合員ノ加入及脱退ニ關スル規定
- 四 役員ニ關スル規定
- 五 會議ニ關スル規定
- 六 會計ニ關スル規定
- 七 漁業權ノ享有行使及之ニ對スル組合員ノ漁業ニ關スル規定
- 八 違約者處分ニ關スル規定
- 九 組合員ノ遭難救恤ニ關スル事項ヲ定メタルトキハ之ニ關スル規定
- 十 存立時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由
- 第十一條 規約ハ組合員タルヘキ者三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ議決スルコトヲ得ス
- 第十二條 創立總會ニ於テハ組合員タルヘキ者ハ他ノ組合員タルヘキ者ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得
- 前項ノ受任者ハ委任狀ヲ發起人ニ差出スヘシ

第十三條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ組合設置ノ認可申請書ヲ地方長官ニ差出スヘシ

前項ノ申請書ニハ規約、初年度ニ於ケル經費ノ豫算及賦課徴收法、第六條ニ定メタル同意アリタルコトヲ證スル書類及創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スヘシ

第十四條 組合ノ設置ヲ認可シタルトキハ地方長官ハ其ノ名稱、地區及事務所ノ位置ヲ公告スヘシ之ニ變更ヲ生シタルトキハ亦同シ

### 第二章 組合ノ管理

第十五條 組合ニハ理事及監事ヲ置クヘシ

理事及監事ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス但シ初回ノ理事及監事ハ創立總會ニ於テ組合員タルヘキ者ノ中ヨリ之ヲ選任スヘシ

理事及監事ノ選任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第十六條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ規約ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 理事及監事ハ何時ニテモ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第十八條 理事ハ組合ノ事務ニ付組合ヲ代表ス但シ組合ト利益相反スル事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

理事數人アル場合ニ於テハ組合ノ事務ハ其ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス但シ規約ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十九條 理事ハ總會ノ決議ニ依ルニ非サレハ左ニ掲ケタル行爲ヲ爲スコトヲ得ス

- 一 經費ノ豫算及賦課徴收法ヲ定ムルコト
  - 二 漁業權又ハ不動産ニ關スル權利ノ得喪、變更ヲ目的トスル行爲ヲ爲スコト
  - 三 基金ノ利用方法ヲ定メ又ハ其ノ支出ヲ爲スコト
  - 四 豫算外ノ支出ヲ爲シ又ハ負債ヲ起スコト
  - 五 組合員ニ非サル者ニ漁業權ヲ貸付シ又ハ之ト入漁ノ契約ヲ爲スコト
  - 六 組合員ヲ除名スルコト
  - 七 訴訟行爲又ハ和解ヲ爲スコト
  - 八 基金ヲ預入ルヘキ銀行ヲ定ムルコト
- 第二十條 理事ハ經費ノ決算、財産目錄、事業報告書並基金ノ積立及剩餘金ノ分配ニ關スル議案ヲ調製シ監事ノ意見書ト共ニ之ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

前項ノ承認ヲ得タルトキハ理事ハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第二十一條 理事ハ規約、前年度ニ於ケル經費ノ決算、其ノ年度ニ於ケル經費ノ豫算、

組合員名簿及總會ノ決議録ヲ事務所ニ備ヘ置クヘシ

組合員ハ前項ニ掲ケタル書類ノ閲覽ヲ求ムルコトヲ得

第二十二條 監事ハ理事又ハ事務員ト相兼スルコトヲ得ス

第二十三條 監事ハ組合ノ財産及事務執行ノ狀況ヲ監査ス

第二十四條 監事財産ノ狀況又ハ事務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シタルトキハ遲滞ナク之ヲ總會又ハ監督官廳ニ報告スヘシ

監事ハ前項ノ報告ヲ爲ス爲必要アルトキハ總會ヲ招集スルコトヲ得

第二十五條 理事其ノ職務ヲ行フコト能ハサルトキハ又ハ理事ノ缺ケタルトキハ監事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三箇月以上ニ亘ルコトヲ得ス

第二十六條 前條ノ規定ニ依リ理事ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ組合員中ヨリ假理事ヲ選任シ理事ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第二十七條 理事ハ毎年度少クトモ一回通常總會ヲ開クヘシ

第二十八條 理事ハ必要アリト認ムルトキ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

組合員ノ五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ臨時總會ヲ招集スヘシ但シ此ノ定數ハ規約ヲ以テ之ヲ減スルコトヲ得

第二十九條 總會ヲ招集スルニハ少クトモ會日ノ三日前ニ各組合員ニ對シテ其ノ通知

ヲ發スヘシ

前項ノ通知ニハ會議ノ目的及事項ヲ記載スヘシ

總會ニ於テハ前二項ニ依リテ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノミ決議ヲ爲スコトヲ得但シ規約ニ別段ノ定アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 組合員ハ各一箇ノ議決權ヲ有ス

第三十一條 組合ト或組合員トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ組合員ハ議決權ヲ有セス

第三十二條 總會ノ決議ハ規約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲スヘシ

第三十三條 左ノ決議ハ組合員三分ノ二以上出席シ其ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス

一 規約變更ノ決議

二 解散ノ決議

三 第十七條、第十九條第二號乃至第六號及第五十八條ノ決議

四 訴訟行爲又ハ和解ヲ爲スコトノ決議

前項第一號乃至第三號ノ決議並經費ノ豫算及賦課徵收法ノ決議ハ地方長官ノ認可ヲ

受クルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第三十四條 第十二條ノ規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第三十五條 總會カ決議ヲ爲ス又ハ爲スコト能ハサルトキハ理事ハ事情ヲ具シテ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

前項ノ場合ニ於テハ地方長官ハ總會ノ決議ニ代ルヘキ命令ヲ爲スコトヲ得

第三十六條 總會ノ決議法令若ハ規約ニ違背シ又ハ組合員共同ノ利益ヲ害スト認ムルトキハ理事ハ其ノ執行ヲ停止シ地方長官ノ指揮ヲ請フヘシ

#### 第四章 組合ノ會計

第三十七條 組合ニハ收入役ヲ置クヘシ但シ收支寡少ナル組合ニ於テハ地方長官ノ認可ヲ得テ之ヲ置カザルコトヲ得

收入役ハ總會ニ於テ之ヲ選任シ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ但シ初回ノ收入役ハ創立總會ニ於テ之ヲ選任スルコトヲ得

第十七條及第三十三條ノ規定ハ收入役ノ解任ニ之ヲ準用ス

第三十八條 收入役ハ理事、監事又ハ事務員ト相兼ヌルコトヲ得ス

第三十九條 收入役其ノ職務ヲ行フコト能ハサルトキ又ハ收入役ノ缺ケタルトキハ理事其ノ職務ヲ行フ但シ其ノ期間ハ三箇月以上ニ亘ルコトヲ得ス

前項ノ規定ニ依リ收入役ノ職務ヲ行フ者ナキトキハ地方長官ハ假收入役ヲ選任シ收入役ノ職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第四十條 收入役ハ組合ノ出納ヲ掌リ會計ノ事務ヲ整理ス

第四十一條 組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ收入役ヲシテ身元保證金ヲ供セシムルコトヲ得

第四十二條 收入役ハ規約及豫算ニ違ヒタル支出ヲ爲スコトヲ得ス

理事カ規約及豫算ニ違ヒタル支出ヲ命シタルトキハ收入役ハ之ヲ地方長官ニ具申シ其ノ指揮ヲ請フヘシ

第四十三條 組合ノ事業年度ハ一箇年トス

第四十四條 組合ノ經費ノ豫算及決算ハ別ニ定ムル所ノ方式ニ從ヒテ之ヲ調製スヘシ

第四十五條 組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ組合ノ漁業權ニ依リテ特別ノ利益ヲ受クル組合員ヨリ漁業料ヲ徴收スルコトヲ得

第四十六條 組合ノ收入其ノ經費ヲ支辨シテ剩餘アルトキハ剩餘金額十分ノ一以上ヲ基金トシテ之ヲ積立ツヘシ

基金ハ公債若ハ地方債ヲ買得シ又ハ郵便貯金若ハ一定ノ銀行ニ預ケ入ルルノ外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ地方長官ノ認可ヲ得タルトキハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條 基金ハ天災、地變其ノ他必要止ムヲ得サル場合又ハ組合員ノ共同ノ利益ヲ増進スルコト顯著ナリト認めラルル場合ノ外之ヲ支出スルコトヲ得ス

### 第五章 組合員ノ加入、脱退及違約處分

第四十八條 組合ノ地區内ニ一箇年以上住所ヲ有スル者ニシテ組合ニ加入セムトスルトキハ組合ハ正當ノ理由アルニ非サレハ之ヲ拒ミ又ハ其ノ加入ヲ困難ナル條件ニ繋ラシムルコトヲ得ス

第四十九條 組合員ノ家督相續人カ相續ノ日ヨリ三十日以内ニ加入ノ申込ヲ爲シタルトキハ相續ノ日ヨリ組合員タリシモノト看做ス但シ隱居シタル被相續人カ組合ヲ脱退セサル組合ハ此ノ限ニ在ラス

第五十條 組合ハ規約ノ定ムル所ニ依リ規約ニ違背シタル組合員ヲ除名シ又ハ之ニ過怠金ヲ課スルコトヲ得

第五十一條 不當ニ加入ヲ拒マレタル者又ハ不當ニ除名セラレ若ハ過怠金ヲ課セラレタル者ハ地方長官ノ裁決ヲ申請スルコトヲ得

### 第六章 組合ノ解散及清算

第五十二條 組合ハ左ノ事由ニ因リテ解散ス

- 一 存立時期ノ満了其ノ他規約ニ定メタル事由ノ發生

二 組合ノ目的タル漁業權享有行使ノ不能

三 組合員ノ數カ其ノ地區内ニ住所ヲ有スル漁業者ノ三分ノ一未滿ト爲リタルトキ但シ地方長官ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

四 組合員ノ數カ五人未滿ニ減シタルトキ

五 總會ノ決議

前項第一號乃至第四號ノ事由ニ因リ解散シタルトキハ理事ハ遲滞ナク其ノ事由ヲ具シ地方長官ニ届出ツヘシ

第五十三條 組合ノ解散アリタルトキハ行政官廳ニ於テ之ヲ公告スヘシ

第五十四條 組合ハ解散ノ後ト雖清算ノ目的ノ範圍内ニ於テハ尙ホ存續スルモノト看做ス

第五十五條 組合カ解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ規約ニ別段ノ定アルトキ又ハ總會ニ於テ他人ヲ選任シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ規定ニ依リテ清算人タル者ナキトキ又ハ清算人缺ケタルトキハ地方長官之ヲ選任ス

第五十六條 清算人ノ選任ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第五十七條及第三十三條ノ規定ハ清算人ノ解任ニ之ヲ準用ス

第五十七條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第五十八條 清算人ハ清算及財産處分ノ方法ヲ定メ總會ノ決議ヲ經ベシ

第五十九條 組合債務完済後ノ剩餘金ハ公共團體又ハ水産組合ニ寄附スヘシ

第六十條 清算カ終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算報告書ヲ作り總會ノ承認ヲ經タル後之ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

前項ノ決算報告書ニハ組合ノ帳簿其ノ他ノ書類及清算ニ關スル一切ノ書類ヲ添附スヘシ

### 第七章 組合ノ監督

第六十一條 組合ハ農商務大臣、地方長官及郡長之ヲ監督ス

第六十二條 監督官廳ハ何時ニテモ理事若クハ清算人ヲシテ組合ノ事業若クハ清算事務ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ組合ノ事業、清算事務及財産ノ狀況ヲ検査シ其ノ他必要ナル命令ヲ發シ及處分ヲ行フ

郡長前項ノ處分ヲ爲シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第六十三條 組合ノ行爲法令又ハ規約ニ違背シ其ノ他公益ヲ害スト認ムルトキハ監督官廳ハ總會ノ決議若クハ組合ノ行爲ノ取消、役員若ハ清算人ノ解任又ハ組合ノ解散ヲ命スルコトヲ得

郡長前項ノ處分ヲ爲サムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第六十四條 地方長官設置ノ認可若ハ規約變更ノ認可ヲ與ヘ又ハ解散ヲ命シ若クハ前條第二項ニ依リ解散ノ處分ノ認可ヲ與ヘタルトキハ遲滯ナク之ヲ農商務大臣ニ報告スヘシ

### 第八章 罰 則

第六十五條 組合ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テ廿五圓以下ノ罰金ニ處ス

- 一 官廳又ハ總會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 二 第二十一條ノ書類ヲ備ヘヌ又ハ其ノ書類ニ記載スヘキ事項ヲ記載セス若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ

三 第十九條又ハ第五十八條ニ違背シタルトキ

四 第六十二條ノ報告ヲ爲サヌ又ハ検査ヲ拒ミ其ノ他監督官廳ノ命令若ハ處分ニ從ハサルトキ

第六十六條 組合ノ理事、監事又ハ清算人本則ニ規定シタル届出ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ届出ヲ爲シタルトキハ一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

### 附 則

第六十七條 本則ハ漁業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第六十八條 本則ノ規定ニ依リ郡長ノ行フヘキ職務ハ北海道ニ於テハ支廳長、島司ヲ置キタル島嶼ニ於テハ島司之ヲ行フ

## 水産組合規則

(明治三十五年五月 農商務省令第九號)

第一條 本則ニ於テ水産組合又ハ水産組合聯合會ト稱スルハ漁業法第二十二條ニ依リ設置スル組合又ハ聯合會ヲ謂フ

第二條 組合及聯合會ニハ漁業法及本則ニ別段ノ規定アルモノヲ除クノ外重要物産同業組合法施行規則ノ規定ヲ準用ス

第三條 組合又ハ聯合會ノ名稱ニハ其ノ地區ノ名稱及水産組合又ハ水産組合聯合會ナル文字ヲ附スヘシ

水産組合又ハ水産組合聯合會ニ非スシテ其ノ名稱中ニ水産組合又ハ水産組合聯合會ナル文字ヲ附スルコトヲ得ス但シ外國領海水産組合法ニ依ル組合又ハ聯合會ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 組合又ハ聯合會ハ漁業權ヲ享有行使スルコトヲ得ス

第五條 組合又ハ聯合會ノ地區一地方長官ノ管轄ニ屬スルトキハ其ノ設置、定款ノ變

更、役員ノ選任、經費ノ豫算並徴收法及解散ノ認可ハ地方長官ニ之ヲ申請スヘシ  
地方長官前項ノ組合又ハ聯合會ノ設置、定款ノ變更及解散ノ認可ヲ與ヘムトスルト  
キハ農商務大臣ノ認可ヲ經ヘシ

地方長官役員ノ選任並經費ノ豫算及徴收法ヲ認可シタルトキハ農商務大臣ニ之ヲ報  
告スヘシ

第六條 前條第一項ノ組合又ハ聯合會ニ在リテハ重要物産同業組合法第十四條及第十  
五條ノ處分ハ農商務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官之ヲ行フコトヲ得

第七條 第五條第一項ノ組合又ハ聯合會ニ在リテハ經費ノ決算又ハ業務成績ノ報告及  
定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規則ノ届出ハ之ヲ地方長官ニ爲スヘシ  
地方長官前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ農商務大臣ニ之ヲ報告スヘシ

附 則

第八條 本則ハ漁業法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
明治十九年農商務省令第七號漁業組合準則ハ之ヲ廢止ス

第九條 本則施行以前ニ於テ水産業ノ改良發達及水産動物ノ蕃殖保護其ノ他水産業  
ニ關シ共同ノ利益ヲ圖ル爲行政官廳ノ認可ヲ得テ設置シタル組合ニシテ漁業法及本  
則ノ規定ニ牴觸セサルモノハ本則ノ規定ニ依リ定款ヲ變更シ本則施行ノ日ヨリ三箇

月以内ニ其ノ認可ヲ管轄行政官廳ニ申請スヘシ

重要物産同業組合法

(明治三十三年三月  
法律第三十五號)

第一條 重要物産ノ生産、製造又ハ販賣ニ關スル營業ヲ爲ス者ハ同業又ハ密接ノ關係  
ヲ有スル營業者相集リテ本法ニ依リ同業組合ヲ設置スルコトヲ得

重要物産及密接ノ關係ヲ有スル營業ノ種類ハ農商務大臣ノ認定ニ依ル  
第二條 同業組合ハ組合員協同一致シテ營業上ノ弊害ヲ矯正シ其利益ヲ増進スルヲ以  
テ目的トス

第三條 同業組合ヲ設置セントスルトキハ豫メ地區ヲ定メ其地區内ノ同業者三分ノ二  
以上ノ同意ヲ得テ創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ但シ二  
種以上ノ營業者相集リ組合ヲ設置セントスルトキハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同  
意ヲ要ス

第四條 同業組合設置ノ地區内ニ於テ組合員ト同一ノ業ヲ營ム者ハ其組合ニ加入スベ  
シ但シ營業上特別ノ情況ニ依リ農商務大臣ニ於テ加入ノ必要ナシト認ムル者ハ此ノ  
限ニアラズ

第五條 同業組合ハ組合相互ノ氣脈ヲ通シ其目的ヲ達スル爲メ同業組合聯合會ヲ設置スル事ヲ得

同業組合聯合會ヲ設置セントスルトキハ其創立總會ヲ開キ定款ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第六條 同業組合及同業組合聯合會ハ法人トス同業組合及同業組合聯合會ハ營利事業ヲ爲スコトヲ得ズ

第七條 同業組合及同業組合聯合會ノ定款ノ變更ハ各其定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第八條 同業組合及同業組合聯合會ハ左ノ役員ヲ置クベシ

- 一 組長 一名
- 一 副組長 若干名
- 一 評議員 若干名

前項ノ役員ノ外定款ノ規定ニ依リ他ノ役員ヲ置ク事ヲ得

役員ハ同業組合ニ於テハ組合員中ヨリ同業組合聯合會ニ於テハ聯合會ヲ組織スル同業組合員中ヨリ之ヲ撰舉シ農商務大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第九條 組長ハ其同業組合又ハ同業組合聯合會ヲ統轄シ其事務ヲ擔任ス

副組長ハ組長ノ事務ヲ補佐シ組長故障アルトキ之ヲ代理ス

評議員ハ組長ノ諮詢ニ應シ及業務施行ノ狀況ヲ監督スルモノトス

副組長及評議員ハ定款ノ規定ニ依リ組長ノ擔任スル事務ノ一部ヲ分掌スル事ヲ得

組長副組長共ニ故障アルトキハ評議員之ヲ代理ス

第十條 同業組合及同業組合聯合會ハ各定款ニ於テ検査規定ヲ設ケ組合員ノ營業品ヲ検査スル事ヲ得

同業組合聯合會ハ各其定款ニ於テ違約者ニ關スル規定ヲ設ケ違約者ニ對シ過怠金ヲ徴シ違約品ヲ沒收スル事ヲ得

第十一條 同業組合及同業組合聯合會ノ經費ノ豫算並ニ徵收法ハ各其定款ノ規定ニ從ヒ之ヲ議定シ農商務大臣ノ認可ヲ受クベシ

經費ノ決算及業務成績ハ每年少クトモ一回組合員ニ公告シ農商務大臣ニ報告スベシ

第十二條 同業組合及同業組合聯合會ハ其事務ニ關シ行政廳ニ建議スルコトヲ得又其諮問アルトキハ答申スベシ

第十三條 同業組合及同業組合聯合會ハ農商務大臣又ハ地方長官ノ命シタル官吏ノ臨檢ヲ拒ムコトヲ得ス又其質問ニ對シ確實ニ答辨スヘキモノトス



第十四條 農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合及同業組合聯合會ヲ設ケシムルコトヲ得

農商務大臣ハ必要ト認ムルトキハ同業組合ノ地區ノ範圍、營業ノ種類又ハ定款ノ變更ヲ命スルコトヲ得

第十五條 同業組合若クハ同業組合聯合會ノ決議又ハ其役員ノ行爲ニシテ法律命令ニ違背シ又ハ公益ヲ害シ又ハ其目的ニ違背シ又ハ監督官廳ノ命シタル事項ヲ執行セザルトキハ農商務大臣ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

一 同業組合若クハ同業組合聯合會ノ解散又ハ其業務ノ停止

二 役員ノ解職

三 決議ノ取消

第十六條 同業組合若クハ同業組合聯合會解散ヲ爲サントスルトキハ組合員三分ノ二以上ノ同意ニ依リ其事由ヲ具シ農商務大臣ノ認可ヲ受クベシ

第十七條 地方長官ハ其管内ニ於ケル同業組合及同業組合聯合會ヲ監督シ必要アルトキハ意見ヲ具シ農商務大臣ノ處分ヲ請フベシ

第十八條 農商務大臣ハ同業組合及同業組合聯合會ニ關シ其職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十九條 第四條第十三條ノ規定ニ違背シタル者ハ二圓以上百圓以下ノ過料ニ處ス

前項ノ過料ニ就テハ非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ヲ準用ス

第二十條 同業組合又ハ同業組合聯合會ノ證票若クハ検査證ヲ營業品ニ偽テ附シタル者又ハ偽造、變造ノ證票若クハ検査證ヲ營業品ニ附シタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

第二十一條 本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

重要輸出品同業組合法ハ之ヲ廢止ス

第二十二條 重要輸出品同業組合法ニ依リテ設立シタル組合及聯合會ハ本法施行ノ日ヨリ之ヲ本法ニ依リ設立シタルモノト看做ス

第二十三條 他ノ法律中重要輸出品同業組合法ヲ準用スヘキモノト定メタル場合ニ付テハ本法施行ノ日ヨリ本法ノ規定ヲ準用シ重要輸出品同業組合法中ノ規定ニ依ルヘキモノト定メタル場合ニ付テハ之ニ相當スル本法ノ規定ヲ準用ス

## 重要物産同業組合法施行規則

(明治三十三年三月)  
(農商務省令第七號)

- 第一條 重要物産同業組合法ニ依リ設置スル組合又ハ聯合會ノ名稱ニハ同業組合又ハ同業組合聯合會ノ文字ヲ附スベシ
- 第二條 組合ノ地區ハ郡市以上ノ區域ニ依ルベシ但シ特別ノ事情アルトキハ此限ニアラス
- 第三條 組合ヲ設置セントスルトキハ五名以上ノ營業者ニ於テ其組合ノ地區及營業ノ種類ヲ定メ發起ノ認可ヲ地方長官ニ申請スベシ
- 第四條 發起ノ認可アリタルトキハ發起人ハ組合員タルベキ者ニ左ノ事項ヲ通知シ組合設置ノ同意ヲ求ムベシ
- 一 組合ノ地區及ヒ營業ノ種類
  - 二 組合員タルヘキ者ノ數但シ各種營業毎ニ之ヲ區別スベシ
  - 三 組合ノ目的及業務ノ概目
  - 四 創立費及ヒ經費ノ概算
  - 五 同意表示ノ形式及ヒ期間
- 第五條 法定ノ同意者アリタルトキハ發起人ハ定款ヲ作り遲滯ナク創立總會ヲ招集ス

ベシ

- 創立總會ヲ招集スルニハ少クトモ二週間前ニ會議ノ目的、日時及ヒ場所ヲ組合員タルヘキ者ニ通知シ且之ヲ公告スベシ
- 前項ノ通知ニハ定款ヲ添附スヘシ
- 第六條 定款ハ組合員タルヘキ者ノ三分ノ二以上ノ同意アルニ非ザレハ之ヲ議定スルコトヲ得ス但シ二種以上ノ營業者組合員タルヘキ場合ニ於テハ各種營業毎ニ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス
- 第七條 創立總會ニ於テハ組合員タルヘキ者ハ書面ヲ以テ表決ヲ爲シ又ハ他ノ組合員タル者ニ委任シテ其表決權ヲ行フ事ヲ得
- 第八條 創立總會ヲ終リタルトキハ發起人ハ法定ノ同意者アリタルコトヲ證スル書類、定款及ヒ創立總會ノ決議録ノ謄本ヲ添附シ組合設置ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スベシ
- 第九條 創立總會ニ於テハ其議定シタル定款ノ規定ニ從ヒ役員ヲ選舉シ又ハ經費ノ豫算並ニ徴收法ヲ議定スル事ヲ得
- 第十條 發起人發起ノ認可アリタル後六箇月内ニ組合設置ノ認可ヲ申請セサルトキ又ハ公益ヲ害スル行爲ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ發起ノ認可ヲ取消ス事ヲ得

第十一條 聯合會ノ創立總會ハ其聯合會ヲ組織セントスル組合ニ於テ選定シタル委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第十二條 聯合會ノ創立總會ヲ終リタル時ハ聯合會ヲ組織スル組合ヨリ聯合會設置ノ認可申請書ヲ農商務大臣ニ差出スベシ

第十三條 組合又ハ聯合會ノ創立費及ヒ其償却ノ方法ハ創立總會ノ承認ヲ經ベシ

第十四條 農商務大臣組合又ハ聯合會ノ設置ヲ命シタルトキハ地方長官ハ創立委員ヲ選定シ且其氏名ヲ公告スベシ

創立委員ハ定款ヲ作り農商務大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十五條 組合又ハ聯合會ノ定款ニハ左ノ事項ヲ記載スベシ

- 一 目的及ヒ業務
- 二 名稱及ヒ事務所ノ位置
- 三 組合ノ地區及ヒ營業ノ種類但シ聯合會ニ在テハ之ヲ組織スル組合ノ名稱
- 四 加入乃ヒ脱退ニ關スル規定
- 五 組合員又ハ聯合會ヲ組織スル組合ノ權利義務
- 六 役員ノ資格權限及ヒ其選任並ニ解任ニ關スル規定
- 七 會議ニ關スル規定

八 會計ニ關スル規定

九 違約者ノ處分ニ關スル規定

十 定款ノ變更ニ關スル規定

十一 解散ニ關スル規定

十二 營業品ノ検査又ハ仲裁判斷若クバ調停ヲ爲サントスルトキハ之ニ關スル規定

第十六條 定款變更ノ認可申請書ニハ其變更ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スヘシ

第十七條 組合又ハ聯合會ニ於テ定款又ハ業務ノ執行ニ關スル規則ヲ設ケタルトキハ其都度農商務大臣ニ届出ツヘシ

第十八條 組合又ハ聯合會ノ役員ノ許可申請ニハ其履歷書ヲ添附スヘシ

第十九條 組合又ハ聯合會ノ經費ノ豫算並ヒニ徴收法ノ認可申請書ハ創立ノ場合ヲ除ク外毎會計年度二箇月前ニ差出スヘシ

經費ノ決算及ヒ會務成績ハ毎會計年度後三箇月内ニ報告スベシ

第二十條 役員ノ缺ケタル場合ニ於テ補闕選舉ノ手續ヲ行フヘキ者アラザルトキハ地方長官ハ組合員ヲ指定シテ其手續ヲ行ハシム

第二十一條 組合又ハ聯合會解散シタルトキハ組長及ヒ副組長ヲ以テ其清算人トス但シ

定款ニ別段ノ定メアル時ハ此限ニ在ラズ  
清算人ハ其氏名、住所ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第廿二條 前條ノ規定ニ依テ清算人タル者アラザルトキハ地方長官之ヲ選任ス

第廿三條 清算人其任ニ適セズ又ハ不正ノ行爲アリト認ムルトキハ地方長官ハ清算人  
ヲ解任スルコトヲ得

第廿四條 清算力結了シタルトキハ清算人其結果ヲ地方長官ニ届出ツヘシ

第廿五條 農商務大臣ニ差出スヘキ書類ハ地方長官ヲ經由スベシ

附 則

第廿六條 本則施行前ニ重要輸出品同業組合法施行細則ニ依リテ爲シタル組合設置ノ  
手續ハ本則ニ依リ之ヲ爲シタルモノトス看做ス

漁業法及關係法規 終

明治三十五年六月四日印刷  
明治三十五年六月八日發行

(郵税共金七錢)

編纂者兼  
發行者

水 産 同 志 會

東京市芝區三田四國町二番地

右代表人

加 藤 喜 造

東京市麻布區材木町廿六番地

印刷人

門 岡 駒 太 郎

東京市芝區三田四國町二番地

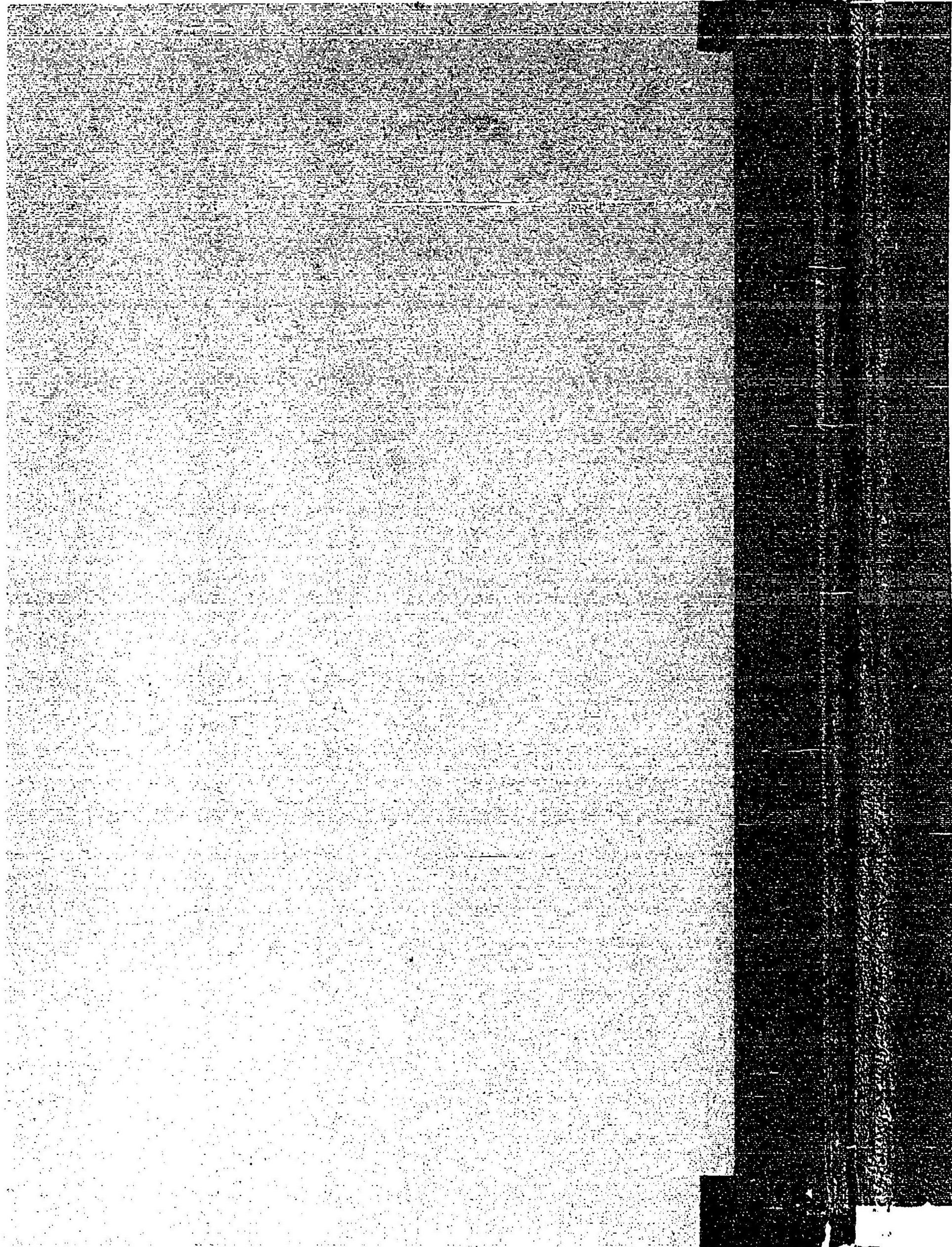
印刷所

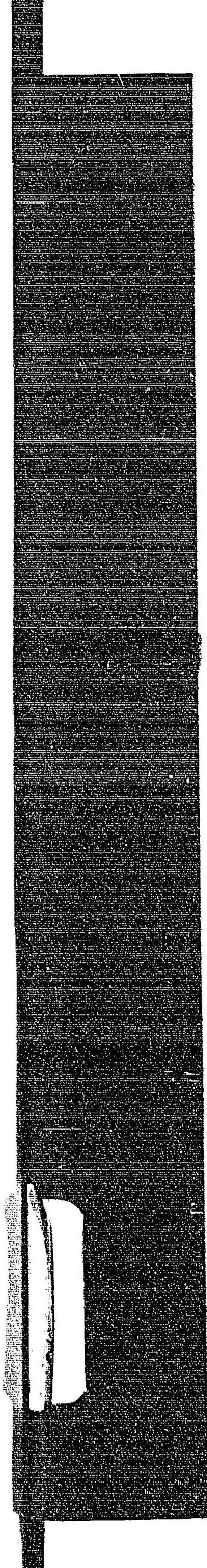
合資社 三 田 印 刷 所

東京市芝區三田四國町二番地

發行所 水 産 同 志 會

F-84





漁業法及關係法規

国立国会図書館

禁電子式複写

037469-001-4

CZ-431-085

漁業法及關係法規

水産同志会

M35

BBU-0075



CZ  
43  
085



